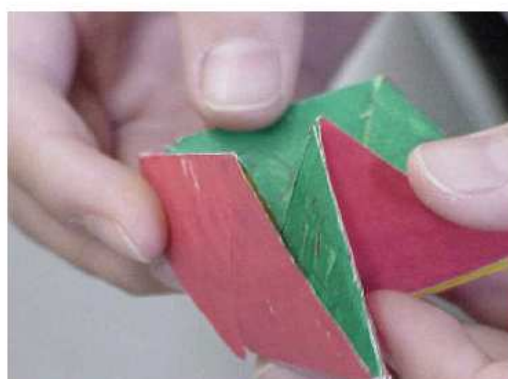
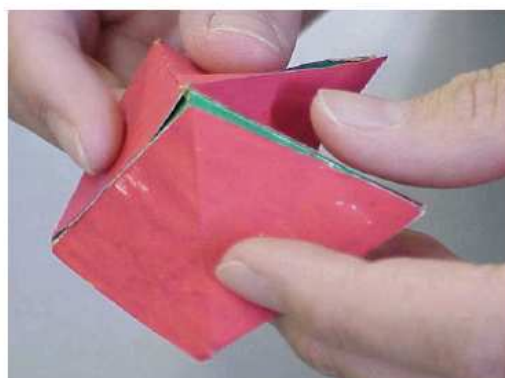
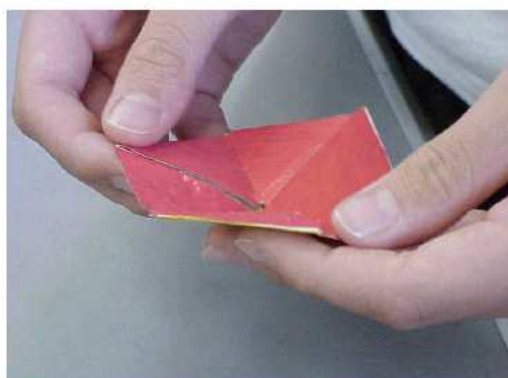


7 元気話

7.1 3面コースター ~表,裏がない面~

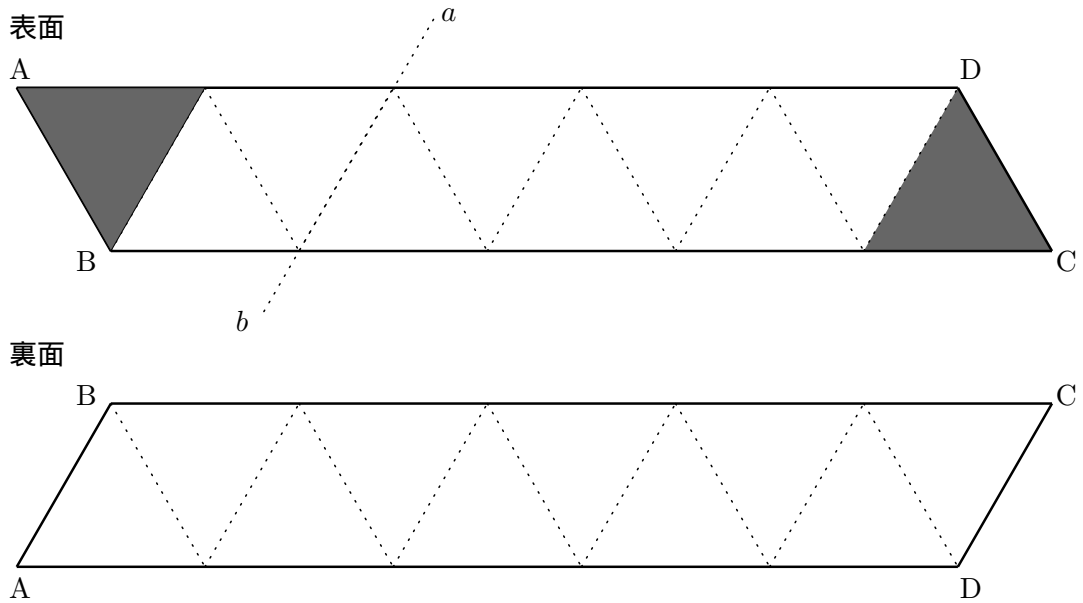
授業案はありません。というのは本時の大部分が工作の時間になるからです。最初は、教師の模範作品の提示から始めるといいでしょう。興味を持たせたら、本時の授業は成功です。後は部品の紙(普通の紙で可)と設計図を分けて取り組ませましょう。時間が余ったら、3面コースターの各面に色を塗ったり、模様を描くといいと思います。6面コースターにも挑戦できるゆとりがあるともっといいですね。ベストは保育実習と組み合わせて、実習前にこのコースターを作って、実習時に園児にプレゼントがいいと思っています。



資料写真では赤色の面が緑色の面が変わる時の写真である。この後、緑色の面が黄色の面に変わり、そして黄色が赤色と変わっていく。Web上ではこの様子の動画がアップされている。つまみ返しというのであるが、最初はいま指が動かないかもしれないが慣れればこのコースターの不思議さがより実感できる。そうそう設計図はグループで1枚で十分です。一人1枚分けるよりも少しくらい不便な環境の方が生徒どうしの関わり合いが生まれ活発な活動を見ることができます。

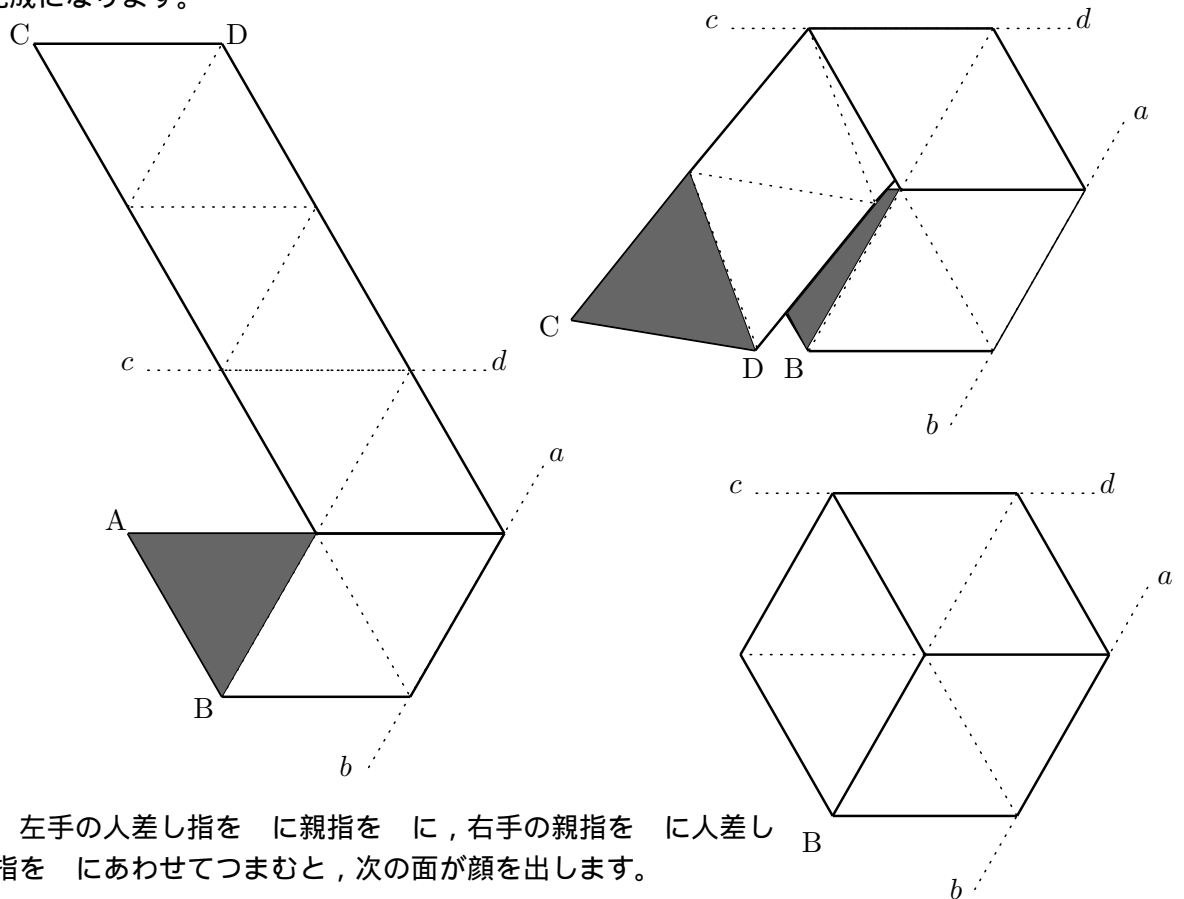
7.1.1 3面コースター設計図

部品を切り取ったらまず位置を確認するために下の図のような番号を書きます。



番号をつけ終わったら、表面を手前にして作り始めます。折り始める前に線分には山折り，谷折り両方の方向に一度折っておくといいでしょう。直線 ab を基準に山折りします。この図が左下図になります。

次に直線 cd でやはり山折りします。(右下図) そして黒く塗ってある面通しを貼り合わせて完成になります。



左手の人差し指を a に親指を b に，右手の親指を c に人差し指を d にあわせてつまむと，次の面が顔を出します。